

国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝  
PFI事業

見積参考資料

令和5年9月

国土交通省四国地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法等を十分考慮して、設計、工事、維持管理等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

#### 資料一覧

1. 見積参考資料（調査・設計業務）
2. 見積参考資料（試掘調査）
3. 歩掛参考資料（試掘調査）
4. 見積参考資料（調整マネジメント業務（設計段階））
5. 見積参考資料（工事業務）
6. 見積参考資料（多目的照明柱設置）
7. 歩掛参考資料（工事業務）
8. 見積参考資料（特別調査（臨時調査））
9. 見積参考資料（調整マネジメント業務（工事段階））
10. 見積参考資料（工事監理業務）
11. 見積参考資料（維持管理業務）
12. 見積参考資料（調整マネジメント業務（維持管理段階））



②仮設照明設計

1 km 当たり

	直接人件費						直接経費 電子計算機 使用料	備考
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員		
現地踏査								
設計計画								
設計条件の確認								
照明柱仮設設計								
設計図								
関連機関との協議資料作成								
数量計算								
照査								

2) 信号・標識等共架設計

①信号・標識等共架設計

1 km 当たり

	直接人件費						直接経費 電子計算機 使用料	備考
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員		
設計計画								
協議資料の作成								
共架図面作成								
照査								
報告書作成								

3. 旅費交通費

本業務で見込んでいる旅費交通費の率を適用する区分等は以下のとおりである。

設計業務

- ・ 区分：土木設計業務

4. 電子成果品作成費

本業務で見込んでいる電子成果品作成費としての内訳項目は以下のとおりである。

- ・ 概略設計、予備設計又は詳細設計

5. 試掘調査

試掘調査は、工事積算を行い、工事価格を経費区分：諸経費非対象で計上する。

1) 数量・積算条件

試掘調査の数量・積算条件については、見積参考資料（試掘調査）によるものとする。

2) 歩掛

試掘調査の歩掛については、歩掛参考資料（試掘調査）によるものとする。

## 見積参考資料（試掘調査）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査））

この「見積参考資料（試掘調査）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料（試掘調査）」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査））	（当初）	主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件		
		補 正 項 目	条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 4週8休以上		

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査））					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
電線共同溝		式		1						
共通仮設費		式		1						
共通仮設費		式		1						
準備費		式		1						
試掘調査費 夜間		箇所		20		< 1 箇所当り > 試掘調査費 外業		箇所	1	
試掘調査費		箇所		20		< 1 箇所当り > 試掘調査費 内業		箇所	1	
交通誘導警備員 夜間		式		1		交通誘導警備員A		人日	6	
交通誘導警備員 夜間		式		1		交通誘導警備員B		人日	12	
純工事費		式		1						
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（DID補正）（1）-1； 緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=4週8 休以上				

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査））					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
工事原価		式		1						
一般管理費等		式		1						
工事価格		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

## 歩掛参考資料（試掘調査）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業  
（調査・設計業務（試掘調査））

この「歩掛参考資料（試掘調査）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、「歩掛参考資料（試掘調査）」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「歩掛参考資料（試掘調査）」は、当該工事にのみ適用するものとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課



## 歩掛参考資料（試掘調査）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査））

歩掛名称 試掘調査費  
外業

10箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
土木一般世話役		人	2.70	
特殊作業員		人	4.28	
普通作業員		人	7.80	
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	t	2.03	
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	3t積級	供用日	6.24	損料
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	タイヤ損耗費 2～3t積級 良好	供用日	6.24	損料
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	4t積級	供用日	5.68	損料
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	5.68	損料
小型バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低騒音型]	排ガス型(第3次) 山積0.09m <sup>3</sup> (平積0.07m <sup>3</sup> )	日	2.77	損料
小型バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低騒音型]	排ガス型(第3次) 山積0.14m <sup>3</sup> (平積0.11m <sup>3</sup> )	日	1.26	損料
ランマ	質量60～80kg	日	2.39	損料
振動コンパクタ[前進型]	機械質量40～60kg	日	2.39	損料
諸雑費（率+まるめ）	全体の合計金額×10%	式	1	

日当り施工量 3.7箇所/日

※時間的制約を著しく受ける

## 歩掛参考資料（試掘調査）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査））

歩掛名称 試掘調査費  
内業

1箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
主任技師		人	0.15	
技師（A）		人	0.45	
技師（B）		人	0.30	
技師（C）		人	0.15	

土佐国道事務所 管理第二課

## 見 積 参 考 資 料

業務名：国道56号 大原町・朝倉南地区町電線共同溝PFI事業（調整マネジメント業務  
（設計段階））

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

### 1. 調整マネジメント業務（設計段階）

調整マネジメント業務（設計段階）は以下を見込んでいる。【歩掛については後日提示】

業務期間：2年

	直接人件費						1年当たり
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	備考
計画準備							
調整マネジメント業務							
打合せ							

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務 ）	（当初）	主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 4週8休以上		

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) 夜間	I型 H=2.5m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 時間的制約を著しく受ける	m	300	
アスファルト舗装工 1号車道仮舗装		式		1					
表層(車道・路肩部) 夜間	密粒度アスコン(13) 舗装厚50mm 平均 幅員1.4m未満	m2		1,940		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種 類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用; 時間的 制約を著しく受ける	m 2	1	
アスファルト舗装工 1号歩道仮舗装		式		1					
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(1 3) 舗装厚40mm 平均幅員1.4m未満	m2		520		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m; 材料=再生密粒度アスコン(13); 瀝青材料種 類=無し; 費用の内訳=全ての費用; 時間的制約を著 しく受ける	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(歩道部) 夜間	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚40mm 平均幅員1.4m未満	m2		1,200		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用; 時間的制約を著しく受ける	m2	1	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員	A	人日		280		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員 夜間	A	人日		680		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員	B	人日		1,100		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	
交通誘導警備員 夜間	B	人日		2,720		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻 片道運搬距離6.0km以下	m3		346		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下；時間的制約を著しく受ける	m 3	1		
殻運搬 夜間	アスファルト殻 片道運搬距離9.0km以下	m3		331		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又（騒音対策必要）；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=9.0km以下；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	m 3	1		
殻処分	アスファルト殻	m3		346		< 1 m3当り > 処分費（m 3）	m 3	1		
殻処分 夜間	アスファルト殻	m3		331		< 1 m3当り > 処分費（m 3）	m 3	1		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		4,120		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	m	1		
舗装版切断 夜間	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m		4,110		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	m	1		
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下	m2		8,650		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込 時間的制約を著しく受ける	m 2	1		

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装版破碎 夜間	アスファルト舗装版 舗装版厚15cmを超え35cm以下	m2		1,940		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削		m3		1,300		< 1 m3当り > 床掘り 時間的制約を著しく受ける	m 3	1	
開削掘削 夜間		m3		1,900		< 1 m3当り > 床掘り 時間的制約を著しく受ける	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締め	砂 中埋砂	m3		580		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=中埋砂；時間的制約を著しく受ける	m 3	1	
埋戻し・締め 夜間	砂 中埋砂	m3		640		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=中埋砂；時間的制約を著しく受ける	m 3	1	
埋戻し・締め	土砂	m3		510		< 1 m3当り > 埋戻し・締め 土質=土砂；時間的制約を著しく受ける	m 3	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し・締固め 夜間	土砂	m <sup>3</sup>		240		< 1 m <sup>3</sup> 当り > 埋戻し・締固め 土質=土砂；時間的制約を著しく受ける	m <sup>3</sup>	1	
残土処理工		式		1					
土砂等運搬	土砂 片道運搬距離10.5km以下	m <sup>3</sup>		800		< 1 m <sup>3</sup> 当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=10.5km以下；時間的制約を著しく受ける	m <sup>3</sup>	1	
土砂等運搬 夜間	土砂 片道運搬距離10.5km以下	m <sup>3</sup>		1,660		< 1 m <sup>3</sup> 当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=10.5km以下；時間的制約を著しく受ける	m <sup>3</sup>	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 直管	VP 径150mm	m		494		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1	
埋設管路 直管 夜間	VP 径150mm	m		1,153		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
埋設管路 直管 夜間	PV 径50mm	m		15,125		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管 夜間	角型FEP 径130mm	m		3,681		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管	角型FEP 径100mm	m		478		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管 夜間	角型FEP 径100mm	m		1,116		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管	角型FEP 径75mm	m		1,680		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管 夜間	角型FEP 径75mm	m		3,919		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管	角型FEP 径50mm	m		523		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		
埋設管路 直管 夜間	角型FEP 径50mm	m		1,221		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；時間的制約を著しく受ける	m	1		

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 管枕 材料費	VP 径150mm用	個		659		< 1 個当り > 管枕 VP 径150mm用	個	1	
埋設管路 管枕 材料費	PV 径50mm用	個		12,172		< 1 個当り > 管枕 PV 径50mm用	個	1	
埋設表示シート 材料費	W=300mm 2倍	m		3,373		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事													
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項														
						名称	単位	数量												
プレキャストボックス A-5MH(車道用) 夜間	B1500×H1900×L4000(蓋・付属品含む)	個		16		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下；時間的制約を著しく受ける プレキャストボックス特殊部 A5マンホール(車道部) B1500×H1900×L4000(蓋・付属品含む) コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッド工(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生グラッサラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	個	1	個	2	組	1	基	1	m 3	1.8	m 2	6	t	0.17

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事													
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項														
						名称	単位	数量												
プレキャストボックス A-7MH(車道用) 夜間	B1200×H1800×L3000(蓋・付属品含む)					< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下；時間的制約を著しく受ける プレキャストボックス特殊部 A7マンホール(車道部) B1200×H1800×L3000(蓋・付属品含む) コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッド工(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類=再生グラッサラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける 鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	個	1	個	2	組	1	基	1	m 3	1	m 2	3.6	t	0.11

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
		個		10		鉄筋工 [市場単価] 鉄筋材料規格・径=SD345 D16～25；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無（鉄筋割合10%未満含む）；構造物種別による補正=補正無（一般構造物）；	t	0.01	
プレキャストボックス 基点接続柵 夜間	B950×H1500×L2200(蓋・付属品含む)	個				プレキャストボックスブロック設置	個	2	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける	個	2	
						プレキャストボックスブロック設置	組	1	
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける	基	1	
		個		1		基礎砕石	m <sup>2</sup>	3.5	
						砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生グラッサン 40～0；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける			

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事								
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項									
						名称	単位	数量							
プレキャストボックス 低圧分岐樹	B500×H500×L1000(蓋・付属品含む)	個		52		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレソクリーン賃料補正係数=標準；時間的制約を著しく受ける 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下；時間的制約を著しく受ける プレキャストボックス 低圧分岐樹 B500×H500×L1000(蓋・付属品含む) 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	個	1	組	1	基	1	m 2	1	
プレキャストボックス 低圧分岐樹 夜間	B500×H500×L1000(蓋・付属品含む)		個		122		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレソクリーン賃料補正係数=標準以外；ラフレソクリーン賃料補正係数(実数入力)=1.26 無；時間的制約を著しく受ける 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下；時間的制約を著しく受ける プレキャストボックス 低圧分岐樹 B500×H500×L1000(蓋・付属品含む) 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシュ 40～0；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	個	1	組	1	基	1	m 2	1
道路照明設備工		式		1											

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路照明設備設置工		式		1					
多目的照明柱設置 夜間		式		1		多目的照明柱設置 諸経費含む	式	1	
照明灯基礎設置工		式		1					
照明灯基礎設置 夜間	直杭 H鋼200×300 0H	箇所		24		< 1 箇所当り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(同日施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=著しく有 り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.247	
照明灯基礎設置 夜間	直杭 H鋼350×500 0H(1)	箇所		46		< 1 箇所当り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込・引抜(同日施工回数3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=著しく有 り； 抵抗板付鋼製杭基礎材料費（H形鋼杭）	回 t	1 0.905	
根巻きコンクリート 夜間	σ28≧18N/mm <sup>2</sup> べ ーラインコンクリート含む	m <sup>3</sup>		21		< 1 m <sup>3</sup> 当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンク リート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運 搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；時間的制 約を著しく受ける	m <sup>3</sup>	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
作業土工(電気) 夜間						床掘り 土質=土砂；施工方法=上記以外(小規模)；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	m 3	30	
						土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模；積込機種・規格=バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=12.0km以下；時間的制約を著しく受ける	m 3	20	
		式		1		埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)；土質=土砂；費用の内訳=全ての費用；時間的制約を著しく受ける	m 3	10	
接地設置工		式		1					
接地設置 夜間	A種接地	箇所		12		< 1 箇所当り > 接地設置 作業種別=A種接地；基礎床掘3m以内の施工による補正=補正なし；時間的制約を著しく受ける	極	1	
接地設置 夜間	D種接地	箇所		58		< 1 箇所当り > 接地設置 作業種別=D種接地；基礎床掘3m以内の施工による補正=補正なし；時間的制約を著しく受ける	極	1	
接地極銅板 材料費	900×900×1.5t 黄銅ロウ付	枚		12		< 1 枚当り > 接地極銅板 900×900×1.5t 黄銅ロウ付	枚	1	
連結式接地棒 材料費	φ10×1500mm	本		58		< 1 本当り > 連結式接地棒 φ10×1500mm	本	1	
連結式接地棒用リード端子 材料費	φ10用 8mm2×500mm	本		58		< 1 本当り > 連結式接地棒用リード端子 φ10用 8mm2×500	本	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ビニル絶縁電線 材料費	IV5.5mm2	m		87		< 1 m当り > 600Vビニル絶縁電線 IV 5.5mm2	m	1	
可とう電線管 材料費	CD管 16mm	m		87		< 1 m当り > 合成樹脂製可とう電線管 CD管 16mm	m	1	
支障物移設工		式		1					
支障物移設工		式		1					
支障物移設費		式		1		支障物移設工 諸経費含む	式	1	
連携設備に関する委託費		式		1					
連携設備に関する委託費		式		1					
連携設備に関する委託費		式		1		連携設備に関する委託費 諸経費含む	式	1	
舗装		式		1					
舗装工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切削オーバーレイ工		式		1					
切削オーバーレイ 1号 夜間	切削深さ7cm以下 一層 ポーラスアスコン(13) 舗装厚50mm	m2		6,930		< 1 m2当り > 切削オーバーレイ 切削深さ7cm以下 一層 ポーラスアスコン (13) 舗装厚50mm 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
殻運搬(路面切削) 夜間	アスファルト切削殻 片 道運搬距離8.5km 以下	m3		347		< 1 m3当り > 殻運搬（路面切削） DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=8.5km以下； 費用の内訳=全ての費用； 時間的制約を著しく受ける	m 3	1	
殻処分 夜間	アスファルト切削殻	m3		347		< 1 m3当り > 処分費（m 3）	m 3	1	
アスファルト舗装工 1号車道舗装		式		1					
下層路盤(車道・路肩部) 夜間	RC-40 仕上り厚300mm 平均幅員3.0m 以下	m2		1,940		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=300 mm； 施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュ RC-40； 費用の内訳=全ての費用； 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) 夜間	再生As安定処理(30) 仕上り厚70mm	m2		1,940		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)； 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下)； 1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=70 mm； 瀝青材料種類=プライムコート PK-3； 費用の内訳=全ての費用； 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部) 夜間	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚50mm 平均幅員1.4m未満	m2		1,940		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用; 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
透水性舗装工 1号歩道舗装		式		1					
フィルター層	砂 仕上り厚100mm	m2		516		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満; 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
フィルター層 夜間	砂 仕上り厚100mm	m2		1,200		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=100mm以上120mm未満; 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
路盤	RC-30 仕上り厚100mm	m2		516		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-30; 費用の内訳=全ての費用; ; 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	
路盤 夜間	RC-30 仕上り厚100mm	m2		1,200		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-30; 費用の内訳=全ての費用; ; 時間的制約を著しく受ける	m 2	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層	開粒度アスコン(13) 舗装厚40mm 平均 幅員1.4m以上2.4m 未満	m2		2,080		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上2.4m未満; 1層当り平均仕上り厚 (70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=開粒度アスコン(13); 時間的制約を著しく受ける	m2	1	
表層 夜間	開粒度アスコン(13) 舗装厚40mm 平均 幅員1.4m以上2.4m 未満	m2		4,850		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上2.4m未満; 1層当り平均仕上り厚 (70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.00以上 2.10t/m3未満); 時間的制約を著しく受ける	m2	1	
排水構造物工		式		1					
側溝工		式		1					
路側排水管 1号側溝 夜間	φ400 排水性舗装 用	m		1,000		< 1 m当り > 管(函)渠型側溝 作業区分=据付; 内径又は内空幅(mm)=300mmを超え4 00mm以下; 基礎碎石の有無=有り; 費用の内訳=全て の費用; 時間的制約を著しく受ける	m	1	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					
歩車道境界ブロック 1号縁石 夜間	B種(180/205×250 ×600)	m		1,000		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置; ブロック規格=B種(180/205×250×600 ); 基礎碎石規格=再生クワッシュラン RC-40; 均し基礎コンク リート規格=無し; 時間的制約を著しく受ける	m	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
区画線工		式		1					
区画線工		式		1					
溶融式区画線 夜間	溶融式手動 実線15cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白	m		1,800		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線 15cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
建設機械運搬費		台		1		貨物自動車による運搬（1車1回） 運搬区分=路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0m； 片道運搬距離(実数入力)=2 km； その他の諸料金の有無=無； 運搬中の賃料(損料)の有無=無；	台	2	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
準備費		式		1					
試掘調査費		箇所		100		< 1 箇所当り > 試掘調査費	箇所	1	
事業損失防止施設費		式		1					
家屋調査費		式		1		家屋調査費 諸経費含む	式	1	
騒音調査費		式		1		環境騒音レベル測定 5地点 諸経費含む 環境騒音レベル測定 5地点 諸経費含む	式 式 式 式 式 式 式 式	1 1 1 1 1 1 1 1	
振動調査費		式		1		環境振動レベル測定 5地点 諸経費含む 環境振動レベル測定 5地点 諸経費含む	式 式 式 式 式 式 式 式	1 1 1 1 1 1 1 1	
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費		式		1		道路施設基本データ作成費	工事	1	

## 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務） （ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
現場環境改善費（率計上）		式		1					
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）-1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2 日の補正=4週8休以上			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）-1； 緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しな い；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=4週8 休以上			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかか る経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の 事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用 等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等 の一部として率計上している。			

## 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象	管理費区分7 間接労務費対象労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務（当初））				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分1 管理費区分T	管理費区分2	管理費区分5	管理費区分7	管理費区分9	
殻処分	アスファルト殻	m3	346	○					
殻処分 夜間	アスファルト殻	m3	331	○					
多目的照明柱設置 夜間		式	1					○	
支障物移設費		式	1					○	
連携設備に関する委託費		式	1					○	
殻処分 夜間	アスファルト殻	m3	347	○					
家屋調査費		式	1					○	

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象労務費	○：該当する管理費区分が含まれている					
工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）				事業区分	共通仮設費			
					工事区分	共通仮設費			
	細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
	騒音調査費		式	1					○
	振動調査費		式	1					○

## 見積参考資料（別紙）

工事名：国道56号 大原町・朝倉南地区町電線共同溝PFI事業（工事業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

### 1. 施工地区

本工事の施工地区は高知中央としている。

### 2. 電力の供給

本工事に必要な電力は、発動発電機による供給を予定している。

### 3. 道路施設基本データ作成費

道路施設基本データ作成費については、以下を見込んでいる。

1 工事当たり技術員 1.75 人日/工事（週休2日補正（労務費）の対象外）

### 4. 週休2日・現場閉所の実施

週休2日を実施する工事であり、各項目における経費において、以下の補正係数を乗じるものとする。

尚、本工事における適用は、4週8休（以上）である。

項目	4週8休以上
労務費	1.05
機械経費(賃料)	1.04
共通仮設費率	1.04
現場管理費率	1.06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	4週8休以上
鉄筋工	—	1.05

### 5. 本工事における支障物移設工、連携設備に関する委託費については、以下を見込んでいる。

#### (1) 支障物移設工

工事数量総括表に示す工事区分「電線共同溝」の内、道路照明設備工・連携設備に関する委託費・支障物移設工を除く直接工事費の20%を計上している。

#### (2) 連携設備に関する委託費

工事数量総括表に示す工事区分「電線共同溝」の内、連携設備に関する委託費を除く工事価格の10%を計上している。



(3) 振動調査費

環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式
環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式
環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式
環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式
環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式
環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式
環境振動レベル測定 (5 地点 諸経費含む)	1 式

7. 本工事における道路照明設備設置工（多目的照明柱設置）の積算については、見積参考資料（多目的照明柱設置）によるものとする。

8. 本工事における切削機作業工、準備費（試掘調査費）の歩掛については、歩掛参考資料（工事業務）によるものとする。

9. 本工事における特別調査（臨時調査）材料については、見積参考資料（特別調査（臨時調査））によるものとする。

なお、特別調査（臨時調査）結果の材料単価については、競争参加資格確認通知書において、競争参加資格が有と通知された者に対して、材料単価を提示した見積参考資料（特別調査（臨時調査））を電子データにて交付する。

## 見積参考資料（多目的照明柱設置）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務)【多目的照明柱設置】

この「見積参考資料（多目的照明柱設置）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料（多目的照明柱設置）」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料（多目的照明柱設置）」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務) 【多目的照明柱設置】	(当初)	主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件		
		補 正 項 目	条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正無		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 4週8休以上		

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務) 【多目的照明柱設置】				( 当 初 )	工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電気設備		式		1					
道路照明設備工		式		1					
道路照明設備設置工		式		1					
多目的照明柱設置(1号タイプ)段付ポール (夜間)	H=10m メッキ後指定色・貼紙防止塗装(556Kg)、LED照明(KCE070-2指定色)ジョイントボックス、管理番号含む	基		34		< 1 基当り > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8~12m 重量:350kg超1,000kg以下 ;トラックレーンの深夜割増の区分=割増あり;トラックレーン 深夜割増率=1.26 無; 時間的制約を著しく受ける 照明器具取付 作業種別=照明器具取付; 作業内容による補正=新設 ; 高所作業車の持込貸与の区分=持込; 時間的制約 を著しく受ける 多目的柱(個別製作照明柱)SS400 溶融亜鉛メッキ後ウレタン 樹脂塗装 段付500kg超~1500以下 貼紙防止塗装 1号タイプ LED道路照明器具(建電協型) KCE070-2 LED道路照明器具(建電協型)用専用ケーブル 直 線型ポール用 ポール内ジョイントボックス SB-902B10- N(3相用) 番号札 スコッチライト120×75(照明ポール)	基	1	
							kg	556	
							箇所	1	
							台	1	
							本	1	
							個	1	
							枚	1	

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務) (当初)				工種区分	道路維持工事																
	【多目的照明柱設置】					参 考 事 項																
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	名称	単位	数量														
多目的照明柱設置(2号タイプ)テーパーポール (夜間)	H=10m メッキ後指定色・貼紙防止塗装(214Kg)、LED照明(KCE070-2指定色)ジョイントボックス、管理番号含む	基		24		< 1 基当たり > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8~12m 重量:350kg以下;トラックレーンの深夜割増の区分=割増あり;トラックレーン深夜割増率=1.26 無; 時間的制約を著しく受ける 照明器具取付 作業種別=照明器具取付; 作業内容による補正=新設; 高所作業車の持込貸与の区分=持込; 時間的制約を著しく受ける 多目的柱(個別製作照明柱)SS400 溶融亜鉛メッキ後ウレタン樹脂塗装 テーパー500kg以下 貼紙防止塗装 2号タイプ LED道路照明器具(建電協型) KCE070-2 LED道路照明器具(建電協型) 専用ケーブル 直線型ポール用 ポール内ジョイントボックス SB-902B10-N (3相用) 番号札 スコッチライト120×75 (照明ポール)	基	1	台	1	kg	214	箇所	1	台	1	本	1	個	1	枚	1

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務) 【多目的照明柱設置】				(当初)	工種区分	道路維持工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
多目的照明柱設置(3号タイプ)段付ポール (夜間)	H=10m メッキ後指定色・貼紙防止塗装(735Kg)、LED照明(KCE070-2指定色)ジョイントボックス、管理番号含む	基		12		< 1 基当たり > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8~12m 重量:350kg超1,000kg以下 ;トラッククレーンの深夜割増の区分=割増あり;トラッククレーン深夜割増率=1.26 無; 時間的制約を著しく受ける 照明器具取付 作業種別=照明器具取付; 作業内容による補正=新設 ; 高所作業車の持込貸与の区分=持込; 時間的制約を著しく受ける 多目的柱(個別製作照明柱)SS400 溶融亜鉛メッキ後ウレタン樹脂塗装 段付500kg超~1500以下 貼紙防止塗装 3号タイプ LED道路照明器具(建電協型) KCE070-2 LED道路照明器具(建電協型)専用ケーブル 直線型ポール用 ポール内ジョイントボックス SB-902B10-N(3相用) 番号札 スコッチライト120×75(照明ポール)	基	1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費(率計上)		式		1		施工地域補正=市街地(DID補正)(1)-1; 除雪工補正=補正無; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=4週8休以上		
純工事費		式		1				

# 見積参考資料

工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務) (当初)					工種区分	道路維持工事		
	【多目的照明柱設置】								
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地(DID補正)(1)-1; 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=4週8 休以上			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費(法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等)が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分8 技術者間接費対象労務費	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分7 間接労務費対象労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業(工事業務) (当初)				事業区分	電気通信設備			
	【多目的照明柱設置】				工事区分	電気設備			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分1 管理費区分9	管理費区分2 管理費区分T	管理費区分5	管理費区分7	管理費区分8	
多目的照明柱設置(1号タイプ)段付テーパーポール(夜間)	H=10m メッキ後指定色・貼紙防止塗装(556Kg)、LED照明(KC)	基	34			○			
多目的照明柱設置(2号タイプ)テーパーポール(夜間)	H=10m メッキ後指定色・貼紙防止塗装(214Kg)、LED照明(KC)	基	24			○			
多目的照明柱設置(3号タイプ)段付テーパーポール(夜間)	H=10m メッキ後指定色・貼紙防止塗装(735Kg)、LED照明(KC)	基	12			○			

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

この「歩掛参考資料（工事業務）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、「歩掛参考資料（工事業務）」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「歩掛参考資料（工事業務）」は、当該工事にのみ適用するものとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課



## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名            国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）  
 歩掛名称        路面切削機運転  
                   切削幅2.0m 深さ23cm

1日当り

名称	規格	単位	数量	備考
運転手(特殊)		人	1.00	
軽油		L	235.00	
路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付]	排ガス型(第3次) 切削幅2.0m 深さ23cm	供用日	1.31	
諸雑費(まるめ)		式	1	

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

歩掛名称 切削オーバーレイ1号夜間  
切削深さ7cm以下 一層 ポーラスアスコン(13) 舗装厚50mm

100m3当り

名称	規格	単位	数量	備考
土木一般世話役		人	0.11	
特殊作業員		人	0.33	
普通作業員		人	0.549	
アスファルト混合物(夜間)	ポーラスアスファルト混合物(13)	t	10.7	
アスファルト乳剤	PKR コム入り	L	40	
路面切削機運転	切削幅2.0m 深さ23cm	日	0.11	様式1-1
路面清掃車運転	ホッパ容量1.5m3	日	0.11	様式1-2
アスファルトフィニッシュ運転	舗装幅2.3~6.0m	日	0.11	様式1-3
ロータリー運転	質量10~12t	日	0.11	様式1-4
タイヤロータリー運転	質量8~20t	日	0.11	様式1-5
諸雑費(率+まるめ)	(労務費+機械経費)の合計金額×14%	式	1	
			日当り施工量	910m3/日

※時間的制約を著しく受ける

土佐国道事務所 管理第二課

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名            国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

歩掛名称        路面清掃車運転  
                  ホッパ容量1.5m3

1日当り

名称	規格	単位	数量	備考
運転手(一般)		人	0.98	
軽油		L	43.00	
路面清掃車[フラスコ・四輪式・路面切削工事用]	ホッパ容量1.5m3	供用日	1.31	
諸雑費(まるめ)		式	1	

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名            国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

歩掛名称        アスファルトフィニッシュ運転  
舗装幅2.3～6.0m

1日当り

名称	規格	単位	数量	備考
運転手(特殊)		人	1.00	
軽油		L	48.00	
ASフィニッシュ[ホイール型]	排出ガス対策型(第3次) 舗装幅2.3～6.0m	供用日	1.39	
諸雑費(まるめ)		式	1	
土佐国道事務所 管理第二課				

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名            国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

歩掛名称        ロートローラ運転  
                  質量10～12t

1日当り

名称	規格	単位	数量	備考
運転手(特殊)		人	1.00	
軽油		L	27.00	
ロートローラ[マカダム・排ガス対策型(第2次)]	運転質量10t 締固め幅2.1m	供用日	1.39	
諸雑費(まるめ)		式	1	

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名            国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）  
 歩掛名称        タイヤロー運転  
                     質量8～20t

1日当り

名称	規格	単位	数量	備考
運転手(特殊)		人	1.00	
軽油		L	30.00	
タイヤロー[普通型]	運転質量8～20t	供用日	1.16	
諸雑費(まるめ)		式	1	

## 歩掛参考資料（工事業務）

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

歩掛名称 試掘調査費

10箇所当り

名称	規格	単位	数量	備考
土木一般世話役		人	2.70	
特殊作業員		人	4.28	
普通作業員		人	7.80	
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	t	2.03	
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	3t積級	供用日	6.24	損料
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	タイヤ損耗費 2～3t積級 良好	供用日	6.24	損料
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	4t積級	供用日	5.68	損料
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	タイヤ(供用日当り)	供用日	5.68	損料
小型バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低騒音型]	排ガス型(第3次) 山積0.09m <sup>3</sup> (平積0.07m <sup>3</sup> )	日	2.77	損料
小型バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低騒音型]	排ガス型(第3次) 山積0.14m <sup>3</sup> (平積0.11m <sup>3</sup> )	日	1.26	損料
ランマ	質量60～80kg	日	2.39	損料
振動コンパクタ[前進型]	機械質量40～60kg	日	2.39	損料
諸雑費（率+まるめ）	全体の合計金額×10%	式	1	

日当り施工量 3.7箇所/日

※時間的制約を著しく受ける

## 見積参考資料（特別調査（臨時調査））

工事名 国道56号 大原町・朝倉南地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

この「見積参考資料（特別調査（臨時調査））」は物価資料等に掲載されていない材料について、市場取引価格の実態調査を実施し、その結果を基に設定したものであり、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。

工事の実施にあたっては、この趣旨を十分理解し、取引の阻害とならないように留意すること。  
 なお、この「見積参考資料（特別調査（臨時調査））」は、当該工事にのみ適用するものとする。

### ○特別調査（臨時調査）材料

品名	規格	単位	備考
プレキャストボックス特殊部 A7マンホール（車道用）	B1200×H1800×L3000（蓋・付属品含む）	基	現場車上渡し 妻壁の管路数は考慮しない
プレキャストボックス特殊部 A5マンホール（車道用）	B1500×H1900×L4000（蓋・付属品含む）	基	現場車上渡し 妻壁の管路数は考慮しない
プレキャストボックス特殊部 基点接続枳	B950×H1500×L2200（蓋・付属品含む）	基	現場車上渡し
プレキャストボックス特殊部 電力分岐枳	B500×H500×L1000（蓋・付属品含む）	基	現場車上渡し
管枕	PV 径50mm用	個	

## 見 積 参 考 資 料

業務名：国道56号 大原町・朝倉南地区町電線共同溝PFI事業（調整マネジメント業務  
（工事段階））

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

### 1. 調整マネジメント業務（工事段階）

調整マネジメント業務（工事段階）は以下を見込んでいる。【歩掛については後日提示】

#### 1) 業務計画書

対象業務数：1業務

1業務当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画書							

#### 2) 調整マネジメント業務

業務期間：4年

1年当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
調整マネジメント業務							

## 見 積 参 考 資 料

業務名：国道56号 大原町・朝倉南地区町電線共同溝PFI事業（工事監理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

### 1. 工事監理業務

工事監理業務は以下を見込んでいる。【歩掛については後日提示】

業務期間：4年

1式当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備							
工事監理業務							
打合せ							

## 見 積 参 考 資 料

業務名：国道56号 大原町・朝倉南地区町電線共同溝PFI事業（維持管理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

### 1. 点検業務

点検業務は以下を見込んでいます。【歩掛については後日提示】

#### 1) 現地徒歩点検

点検回数：維持管理業務開始後、3ヶ月に1回、合計92回を想定している。

1回当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
計画準備							
現地徒歩点検							
点検調書作成							
報告書作成							

#### 2) 特殊部マンホール点検

点検回数：維持管理業務開始後5年目の年度を初回とし、5年に1回、合計4回を想定している。

1回当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
計画準備							
特殊部マンホール点検							
点検調書作成							
報告書作成							

### 2. 電線共同溝管理台帳作成

電線共同溝管理台帳作成は以下を見込んでいます。【歩掛については後日提示】

区間延長：1.73 km

1 km当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
管理台帳作成							

### 3. 旅費交通費

本業務で見込んでいる旅費交通費の率を適用する区分等は以下のとおりである。

設計業務

- ・ 区分：調査、計画業務

### 4. 電子成果品作成費

本業務で見込んでいる電子成果品作成費としての内訳項目は以下のとおりである。

- ・ その他の設計業務

## 見 積 参 考 資 料

業務名：国道56号 大原町・朝倉南地区町電線共同溝PFI事業（調整マネジメント業務  
（維持管理段階））

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 管理第二課

### 1. 調整マネジメント業務（維持管理段階）

調整マネジメント業務（維持管理段階）は以下を見込んでいる。【歩掛については後日提示】

業務期間：23年

1年当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備							
調整マネジメント業務							
打合せ							